

道路ネットワーク整備 県道・市道の整備促進を

海老原議員 ①一般県道西田井・

二宮線、②県営畑地帯総合整備事業石島地区内の市道整備、③主要地方道つくば・真岡線（信号機）、④主要地方道栃木・二宮線の延伸、⑤小貝川西及び鬼怒川西土地改良事業地内の道路舗装整備について伺いたい。

建設部長 ①栃木県によると、路線確定と関係地権者による境界立ち会いが終了し、本年度は用地測量と物件調査を実施することと

である。平成二十五年度から用地買収に入る予定であり、計画どおりに進捗すれば、平成二十八年度から五行川の橋梁工事に着手すると聞いている。

②栃木県によると、平成二十五年度に道路詳細設計を実施予定で、今後は、一般県道西田井・二宮線と県営畑地帯総合整備事業の進捗に合わせて事業推進を図ることである。

③栃木県によると、信号機が見にくいとの苦情があったので、今年度に移設工事を実施した。ま



一般県道西田井・二宮線が整備される石島地区

た、この交差点の拡幅工事は、交差点用地の境界確定が難航し用地確保ができないため、今後も栃木県において、境界確定に向けて鋭意対応に努めると聞いている。

④栃木県では、平成二十三年度に地元説明会及び現地測量を実施し、本年度は道路詳細設計を実施している。平成二十五年度には、再び地元説明会を行い、用地測量を実施する予定と聞いている。

⑤地域から多くの整備要望が出されているが、緊急性、事業効果、地域間のバランス等、総合的に判断し、区長の意見も伺いながら順次整備を進めていく。

五行川二宮遊水地の 進捗状況と利用計画は

海老原議員 五行川二宮遊水地整備計画については、平成十三年度

に用地買収に入り、右岸十一ヘクタールが工事完了となり、一部分は菜の花畑として誘客に取組んでいる状況であるが、事業全体の進捗状況を伺いたい。

また、遊水地の利用計画に対する検討委員会の設立も必要な時期であると思う。検討委員会の設置に関する考えを伺いたい。

市長 五行川二宮遊水地整備の進捗状況は、栃木県真岡土木事務所

に確認したところ、左岸側B池二十九ヘクタールの整備を進めており、今年度は上流上池の護岸工事を予定し、整備率は全体で約八〇%とのことである。二宮遊水地菜の花事業は、平成二十一年度から栃木県が事業主体となり、整備が完了した右岸側A池のうち、約二・七ヘクタールの敷地を有効活用し、菜の花、レンゲの栽培を行っている。三月下旬から五月上旬

の期間、真岡鐵道の各駅や道の駅にのみや等で菜の花を自由に摘み取ることのできる菜の花切符を發

行し、観光PRに努めている。

遊水地については、市民の憩いの場として整備することとし、県の遊水地整備事業とアクセス道路としても利用できる一般県道西田井・二宮線の整備事業の進捗状況を見ながら検討委員会を設置し、利用計画の検討を進めたい。

なお、真岡土木事務所では、事業の途中経過について地元で周知したいとのことである。

SL展示施設の 効果とPR方法は

大根田(悦)議員 SL展示施設については、九月議会でも観光と



「SLキュー□ク館」の完成予想図

いうフィルターを通していろいろな提案をしたところであるが、SL展示の効果、PR方法について伺いたい。

市長 SLの走るまち拠点施設整備事業は、本市一番のイメージである「SLの走るまち」という特色を生かし、集客力が高く魅力ある施設を整備することによって、観光の振興を図り、交流人口の増加と地域のにぎわいを創出することが目的である。SL九六〇〇（きゆうせんろつびやく）型を静態保存する予定だったが、保存状態が良好で自走が可能のため、圧縮空気を動力源として走行できるように整備したい。SL九六〇〇型の走行は国内初となり、集客力のアップを期待している。SLと共に展示する旧型客車スハフ四四（よんよん）は、本市の市制施行と同じ昭和二十九年に製造され、保存状態がよく貴重な観光資源となる。施設の東側と北側をイベント広場として整備し、SLフェスタや駅前コンサートなどを開催することで、より多くの皆様に来ていただけるものと考えている。また、地元自治会や商店会、真岡鐵道株式会社やSL運行協議会などと連携を図り、新たなイベントの